

爪で拾って箕でこぼす

「週末寸言」原稿 080223

新宿駅の5・6番線ホームの突端に喫煙コーナーがある。の見紳士風の男が二人、さかんに怪気炎を上げている。さか「いや、こう嫌煙運動をされちゃ、我ら愛煙家は生きていけないなあ」「全くですよ。私の秘書などは私がタバコ臭いと言わんばかり、これみよ。これは人権蹂躪だと思えますよ。」「加えて、詐欺だとも思いますね。われわれ愛煙家は法外に高い税金を納めているんですからなあ。感謝されているんですけど、いけません。税金を納めているんです。その総額を「そうすか、なんと2兆円です。」「そうです。それなのにこのご粗末扱いなんですか。第一、ホームのコンクリートが灰皿を置いてです、私からね、これはグリーン車で、トルも戻らなくちゃなりませぬ」「詐欺の上に虐待ですわね」二人の憤懣は止まるところを知らず、鼻から猛然と煙を吐いている。二人の論理は実に明快。外な税金を納めているのには、国民的謝意が表されたいばかり、来たすような環境を押し付けているこの国のだ。は不条理で

は多額の税が徴収されている。その額は1兆9千億円。それもその（目的）には「事業法第一、ばこの産業の健全な発展を図り、もつて財政収入の健全な確保及び国民経済の健全な発展に資することを目的とする」がある。こんな文言はたばこが専売であった時代には無かつたから、明らかな政府は得ている。だから、民営化し得たのは収入を財源と心た。株主は50・2%の株式を保有する日本02%の紳士の二人が苦情を言うべきは、彼が秘書でもなければ、JR新駅長でもなく、財務大臣でなく、は道理が立たない。たいのか、この二人の不平不満を聞かされた二人の筆者の方だ。彼らの副流煙を嗅がれるらば、かからぬ。税金を取らなければ、いぬ。彼らはなくも、たばこによる発ガンなどは疫学的証明がなされるほど十分に科学的証明がなされているが、超えられない。促進しているが、は知られていない。か。この04兆116億円のばこの起原の医療費超過が、最近の専門家試算によれば、04兆116億円のばこの起原の医療費超過が、す。と。お。り。今。後。増。加。す。と。い。う。差。し。引。き。愛。煙。家。は。国。民。に。2兆円以上のつけ。回。し。た。こ。と。に。な。る。だ。財。務。大。臣。は。税。金。を。爪。で。拾。っ。て。こ。ぼ。し。て。い。た。の。で。あ。る。